

ヒラキ「靴専門店」京阪神エリアに14店舗出店中!



当期新規出店

2023年 7月	リノアス八尾店	(大阪府八尾市)
11月	ダイエー東大阪店	(大阪府東大阪市)
2024年 2月	セブンパーク天美店	(大阪府松原市)

2024年春夏 新商品



JOG軽AirⅢ ¥980(税込¥1,078)	ミニショルダーバッグ ¥499(税込¥548)	レディースサンダル ¥980(税込¥1,078)
----------------------------	----------------------------	-----------------------------

通気性に特化した目の粗いニットを使用しているため夏も快適!ラクに履けて包み込まれるフィット感!

コンパクトなのに見た目以上の収納力。豊富なカラーバリエーションでおでかけコーデばっちり!

ビーチサンダル感覚で履ける軽量サンダル。弾力のあるやわらか素材でグミのような履き心地。



ビッグTシャツ ¥499(税込¥548)	子ども軽量スニーカー ¥780(税込¥858)	スリムワンタッチステンレスボトル ¥580(税込¥638)
-------------------------	----------------------------	----------------------------------

ナチュラルな風合いのコットン100%素材を使用。繊維が擦り合わせた構造でふっくらとしたボリューム感が特徴。

凹凸スパイクを搭載した設計でしっかり地面をつかんで走りをサポート!毎日履くものだから素材にも造りにもこだわりました。

マイボトルでサステナ生活!使いやすい320ml。口が広いから氷も入れやすく、ランチタイムやスポーツシーンで大活躍!

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	株主優待	毎年3月31日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、12/31~1/3を除く)	

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)で行っております。

- 住所変更、単元未満株式買取のお申し出について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待特典のお知らせ

2024年3月31日の当社株主名簿に記載された単元株式数(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、当社お買物券(税込2,000円相当)を贈呈いたします。
※当社お買物券は当社通信販売(ハガキでの注文)、または当社店舗にて使用できます。
※贈呈時期は秋冬新商品の発売時期に合わせて、2024年8月下旬頃の発送を予定しております。
※省資源化のため、カタログは同封せずお買物券のみの送付とさせていただきます。

ヒラキのホームページでは、IRニュースやプレスリリースほか、会社情報など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を定期的に更新、掲載しております。
また、ヒラキ通信販売サイトへもリンクしておりますので、どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

<https://company.hiraki.co.jp/>



ヒラキ株式会社

[本誌に関するお問い合わせ先:総務部]
〒651-2494 神戸市西区岩岡町野中宇福吉556
☎ 078-967-1065

当株主通信は環境に配慮した再生紙、およびインクを使用しております。
また、読みやすいUDフォントを使用しております。



「驚き」「楽しさ」「満足感」をめざして。

暮らしにフィット!

ビッグTシャツ
¥499(税込¥548)



水陸両用サンダル
¥1,980~(税込¥2,178~)

AQUA LEISURE
¥780(税込¥858)

第47期

HIRAKI COMPANY REPORT

株主通信

2023年4月1日~2024年3月31日

ヒラキ株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第47期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）が終了しましたので、決算および事業の概況についてご報告申し上げます。

今後とも当社の基本方針である「長期安定的な企業価値の向上」を目指してまいりますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役会長 兼 社長執行役員
伊原 英二

連結

売上高	13,313百万円 (前期比 6.8%減)
営業損失(△)	△46百万円 (前期は営業利益155百万円)
経常利益	0百万円 (前期比 99.5%減)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△15百万円 (前期は当期純利益111百万円)
1株当たり当期純損失(△)	△3円12銭 (前期比 26円06銭減)
期末配当	10円 (前期は 10円)

年間配当20円(前期は20円)

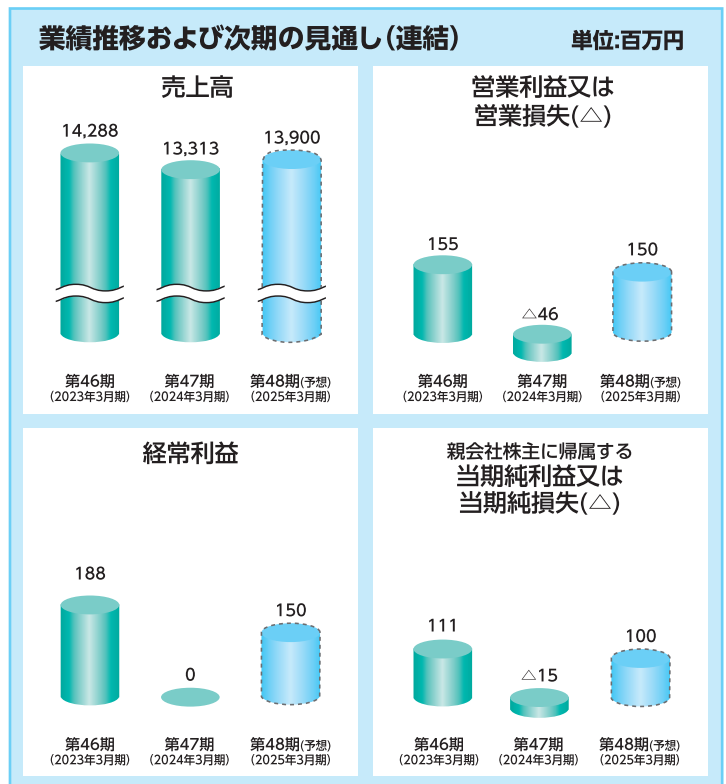
事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、経済活動はコロナ禍から正常化に向け穏やかな回復基調にありました。一方、為替相場やエネルギー価格の変動に加えて、原材料価格の高騰に伴う物価上昇等により消費者の生活防衛意識が高まるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いておりました。

このような経済環境の下、当社グループは、2021年度～2023年度を計画期間とする中期経営計画において、2023年度の経営方針を「原点経営の推進」とし、事業の中核であるオリジナル商品を磨き上げることで、通信販売・店舗販売・卸販売各事業を通して、お客様に「驚き」「楽しさ」「満足感」を提供すべく事業展開を推し進めてまいりました。

商品面では、2024年春夏シーズンに超低価格の「JOG軽Air」、「ビットローファー」、「ミニショルダーバッグ」等数多くの販売促進商品のほか、靴・衣料・雑貨等の新商品を約350点投入いたしました。店舗販売事業では、人流の回復ならびに一昨年オープンした岩岡本店および昨年8月にオープンした姫路店の「おかし館」効果により集客力が上がり、来店客数・購入単価・買上点数ともに堅調に推移しました。

しかしながら、収益の中核である通信販売事業の売上高が前期を下回った結果、当連結会計年度における連結売上高は、133億13百万円(前期比6.8%減)、営業損失は46百万円(前期は営業利益1億55百万円)、経常利益は0百万円(前期比99.5%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は15百万円(前期は当期純利益1億11百万円)となりました。



事業のセグメント別概況

通信販売事業

■テレビCM、インフルエンサーによるPR投稿のほか、スクール応援キャンペーンやアプリ80万ダウンロード突破キャンペーン等、まとめ買い割引およびクーポン付与等の販売促進策を精力的に展開し、受注件数の増加に努めてまいりました。しかしながら、円安による輸入価格上昇のため価格改定を行ったことや、物価高による実質賃金が低下する中、商品開発面において商品の価値を魅力的かつ効果的にお客様に十分にお伝えすることができなかったことにより、受注件数は前期を下回りました。

この結果、売上高は66億84百万円(前期比14.7%減)、利益面は、売上総利益率は前期を上回り販管費の一層の削減を図りましたが、減収の影響が大きく、セグメント利益は2億88百万円(前期比45.8%減)となりました。

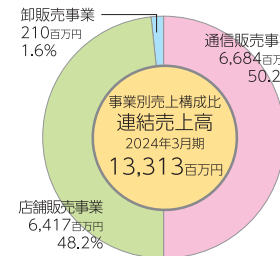
店舗販売事業

■岩岡本店および姫路店の「おかし館」効果により集客力が上がり、お菓子以外のカテゴリにも波及し、増収となりました。また、主力の靴部門では、総合店に加え靴専門店3か店の新店オープンも寄与し、オリジナル商品を主体に前期を大きく上回りました。靴専門店の靴売上は全店オリジナル商品靴売上の約50%に達し、売上総利益率アップに寄与しました。

この結果、売上高は64億17百万円(前期比3.8%増)となりました。利益面は、靴専門店出店による人件費の増加を主因とした販管費の増加を増収によりカバーし、セグメント利益は58百万円(前期比474.5%増)となりました。

卸販売事業

■新規取引先およびスポット販売先の受注は堅調に推移した一方、主力取引先への販売が前期を大きく下回った結果、売上高は2億10百万円(前期比21.2%減)となりました。利益面は、売上総利益率が改善したものの減収の影響により、セグメント損失は10百万円(前期は損失17百万円)となりました。



中期事業戦略

基本戦略

3事業連携によるオリジナル商品の開発強化と収益力の向上

- 通信販売事業**
 - ◆価格以上に価値がある商品の開発
 - ◆顧客理解に基づくマーケティング強化
- 店舗販売事業**
 - ◆総合店の販わい創出による集客力向上
 - ◆靴専門店モデルの標準化による出店加速
- 卸販売事業**
 - ◆ODM/OEM取引およびECの強化
 - ◆営業体制、経費の効率化による利益改善

2025年3月期連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期(累計)	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	
通期	13,900 4.4	150 -	150 -	100 -	20円54銭